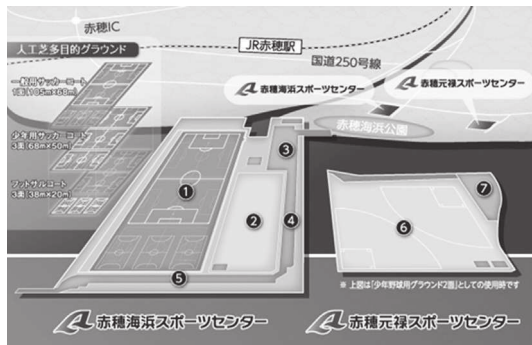


スポーツ活動推進での「宿泊費の助成」について

経政会代表 釣 昭彦 議員

問 人口減少が進む中、「スポーツ都市宣言」を契機にスポーツ施設の拡大が図られております。スポーツの振興と人口交流機会の拡大で、本市でのスポーツイベントに参加を促進する為に、市外・県外からスポーツ参加者の宿泊費の助成制度が開始されるが、今後、どの様な予算で進めていく考えか伺いたい。

答 文化・スポーツ合宿等宿泊助成にかかる予算は、文化・スポーツ施設を利用した合宿を主目的として、連続2泊以上宿泊する団体を対象とし、1回の合宿につき、延べ1千人の宿泊者数に1千円を乗じた額100万円を計上しており、予算の範囲内での執行を考えている。



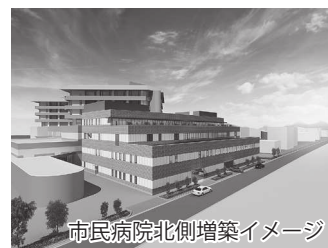
市民病院経営改革の問題点・アウトソーシングについての考え方は

無会派 小路克洋 議員

問 第二期基本構想に合わせ、経営面を見直す必要がある。経営改革する上で、どこに問題があり、どこを改善すべきか把握する必要がある。その問題点と具体的方策を伺いたい。また、改革成功の鍵は、強いリーダーシップを持つ事務局長の存在とプロの委託者へのアウトソーシングが不可欠と考える。市長のお考えを伺いたい。

答 市民病院経営改革の主な問題点への対応策は、1として様々な手法の活用による医師の確保、2として学会・研修会等への参加や有資格者の病院直採用等による職員の資質の向上、3として第二期基本構想の確実な推進と地域医療支援病院指定の維持を図りながら中核病院としての医療の提供に努めることの3点であると考えている。

病院経営改革の実績を持つ病院事務局長は、人材があれば採用の検討はしたい。業務を外部委託するアウトソーシングについては、病院全体の業務改善を図る一つの手法であり、大きなメリットになるものと考えている。



特別委員会報告から

幹線道路建設特別委員会

委員会開催状況

平成27年度には、計2回委員会を開催し、第2回目となる8月11日の委員会では、国道250号や赤穂佐伯線等、幹線道路及び関連する市内幹線道路の整備状況について、当局から説明を受けました。その後委員から、高取峠のトンネル化について、交通需要や混雑度の状況と事業化の見込みについて、また坂越大橋完成後の現在の坂越橋の維持管理に係る赤穂市の負担等について質疑を

行った後、本年度の取り組みについて協議し、県などの関係機関に対し要望活動を行うことが必要としました。

また、委員会終了後、坂越大橋、国道250号坂越道路の現地視察を行いました。

県への要望活動

委員会での協議を踏まえ、1月27日には、正副議長と当委員会正副委員長、県議会議員の同席により、西播磨県民局長外に対し、幹線道路の整備促進に関する要望として、国道250号高取峠トンネル化、県道赤穂佐伯線、高雄有年横尾線について要望書を提出しました。